

製鉄記念室蘭病院（松木・高雪病院長）の第50回コンサートが16日夜、同院で開かれ、室蘭市民オーケストラ（神島茂夫団長）がクラシックを届けた。入院患者や地域住民ら約60人が訪れ、優雅な音色を楽しんだ。

同オーケストラメンバーは曲や作曲者などにまつわるエピソードを紹介しながら演奏した。ヨハン

## 優雅な調べで癒やす

室蘭市民オーケストラ

### 製鉄記念病院で演奏会

・シュトラウスの軽快な「トリッチ・トラッチ・ポルカ」で幕開けし、ポルカ「クララップフェンの森で」、ワルツ「芸術家の生涯」と続いた。

この後、エルガーの「愛のあいさつ」、行進曲「威風堂々第一番」といったなじみのある曲が演奏された。聴衆はじつくりと聞き入り、一曲ごとに大きな拍手を送っていた。

（成田真梨子）



製鉄記念室蘭病院でクラシックを演奏する室蘭市民オーケストラと聞き入る聴衆